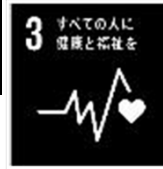


## 事業整理シート

事業名	消防本部車両等更新整備事業	整理番号	3202-020		
所管	消防本部 警防課	予算款項目	一般会計	4	1

### ●事業の種類と位置づけ

事業期間	2021年度 (令和3年度)	～	2023年度 (令和5年度)	根拠法令・要綱等
基本計画における位置づけ	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化
	関連施策:	7-7-2	施策名:	広域行政体制の充実・強化
個別計画での位置づけ	消防車両等整備計画			
SDGsでの位置づけ	目標3	すべての人に健康と福祉を		
	目標11	住み続けられるまちづくりを		



### ●事業の内容

目的	住民の生命、身体、財産の保護と被害の軽減を図る。
対象	御殿場市・小山町全域
手段	消防車両更新計画に基づき、はしご車、救急車、消防ポンプ自動車の更新
令和元年度末までの事業実施状況	西分署救急車、御殿場消防署資機材搬送車、御殿場消防署消防ポンプ自動車を更新
事業の背景・住民意見の反映	災害時における住民の生命、身体、財産の保護及び救命率の向上を目指している。
PDCAサイクル (R1→R2)	消防車両等更新計画に基づき計画的に更新しているが、緊急度、優先度を検討し更新を進める。


### ●事業計画 (単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
事業内容	御殿場消防署はしご車		御殿場消防署救急2号車 消防本部連絡車	富士岡分署水槽付消防ポンプ自動車 小山救急1号車	
事業費		232,700	39,000	97,000	368,700
財源内訳	国補				0
	防衛	75,160			75,160
	県補		10,000	37,416	47,416
	市債	157,500	24,300	53,500	235,300
	財繰				0
	負担				0
	小山	10	1,130	1,462	2,602
	寄付				0
	その他				0
一般	30	3,570	4,622	8,222	

## 事業整理シート

事業名	高機能消防指令システム地図更新事業	整理番号	3202-030		
所管	消防本部 通信指令課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	4	1

### ●事業の種類と位置づけ

事業期間	2022年度 (令和4年度)	～	2022年度 (令和4年度)	根拠法令・要綱等	消防組織法第1条
基本計画における位置づけ	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	7-7-2	施策名:	広域行政体制の充実・強化	
個別計画での位置づけ					
SDGsでの位置づけ	目標11	住み続けられるまちづくりを			

### ●事業の内容

目的	新東名高速道路及び主要幹線道路並びに周辺取り付け道路の開通により、御殿場市、小山町の道路状況及び地理地形が大幅に変更されるため、高機能消防指令システムの地図データを更新し、迅速確実な指令出動体制を維持させる。
対象	地域住民(御殿場市・小山町)
手段	現状の高機能消防指令システム地図データを、新東名開通後の最新地図データに更新する。
令和元年度末までの事業実施状況	本事業は道路建設進行状況の影響により更新時期が変動するため、それに合わせる事業準備を行っている。
事業の背景・住民意見の反映	新東名高速道路一部開通及び主要幹線道路の開通により、大幅に御殿場市、小山町の道路状況が変貌するため、現状の地図では出動場所の検索及び出動車両のルート検索等に支障をきたすおそれがあるので、最新の地図データへの更新が必要となる。
PDCAサイクル (R1→R2)	高機能消防指令システム地図データは5種類の地図データで構成されているが、検討した結果、新東名開通に伴い大きな影響が出る3種類の地図データ更新に絞った。地図業者、工事業者及びシステム業者に調査しているところです。


### ●事業計画 (単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
事業内容			高機能消防指令システム地図更新事業		/
	事業費		18,200		18,200
財 源 内 訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山寄付		4,389		4,389
	その他				0
	一般		13,811		13,811

## 事業整理シート

事業名	防火装備導入事業	整理番号	3202-040		
所管	消防本部 管理課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	4	1

### ●事業の種類と位置づけ

事業期間	2019年度 (令和1年度)	～	2022年度 (令和4年度)	根拠法令・要綱等	消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン
基本計画における位置づけ	施策番号:	3-2-2		施策名:	消防力の強化
	関連施策:			施策名:	
個別計画での位置づけ					
SDGsでの位置づけ	目標11	住み続けられるまちづくりを			

### ●事業の内容

目的	ガイドラインの改定に伴い、新基準に則った個人防火装備を導入し、危険な災害現場活動に対する安全を確保する。
対象	消防隊員
手段	新規採用職員や消防士等の若手職員を優先に、隔日勤務で火災等に対応する職員に対し段階的に導入する。
令和元年度までの事業実施状況	令和元年度から導入を開始し、新規採用職員4名と消防隊員30名に貸与した。
事業の背景・住民意見の反映	建物構造の変化や都市型建築物の普及、消火機材の進歩に伴い、建物火災の消火戦術も外から放水するだけでなく、屋内進入して消火活動を行う戦術が標準化してきた。その中で、国際標準化機構において個人防火装備の規格が見直されたことに加えて今まで規格化されていなかった装備も新たに項目化され、ガイドラインが改定された。
PDCAサイクル (R1→R2)	増加する災害発生状況を鑑みると、単年度の更新が望ましいが、経費等の平準化を図るため、3カ年をかけ、新規採用職員や消防士などの若手職員から段階的に導入する更新計画とした。


### ●事業計画 (単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
事業内容	防火装備導入事業		防火装備導入事業		/
	事業費	8,700	8,700		17,400
財 源 内 訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山	2,090	2,090		4,180
	寄付				0
	その他				0
一般	6,610	6,610		13,220	

## 事業整理シート

事業名	小山消防署建設指令装置更新事業	整理番号	3202-050		
所管	消防本部 通信指令課	予算款目	広域行政組合 一般会計	4	1

### ●事業の種類と位置づけ

事業期間	2023年度 (令和5年度)	～	2023年度 (令和5年度)	根拠法令・要綱等	消防組織法第1条
基本計画における位置づけ	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	7-7-2	施策名:	広域行政体制の充実・強化	
個別計画での位置づけ					
SDGsでの位置づけ	目標11	住み続けられるまちづくりを			

### ●事業の内容

目的	老朽化している小山消防署の建替えにより、小山消防署の指令装置を更新する。
対象	地域住民(御殿場市・小山町)
手段	高機能消防指令システムの納入業者である株式会社富士通ゼネラルが小山消防署建設工事にあわせ、指令業務に関わる署所端末装置等の消防指令システムの指令装置を設置する。
令和元年度末までの事業実施状況	移設先の立地条件による無線感銘度等、指令装置の機能について、確認調整を既設設備保守業者と行っている。
事業の背景・住民意見の反映	平成21年度に導入され継続使用されている小山消防署の指令装置を建設にあわせ更新する。既存装置を移設した場合には動作保障外のため、全てを新規更新する必要がある。
PDCAサイクル (R1→R2)	小山消防署に新規設置する消防指令システムの各装置について、消防本部管理課及び業者間での事業費も含めた細部調整を図り、確実な事業完了を目指す。


### ●事業計画 (単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
事業内容				小山消防署の署所端末装置等消防指令システム指令装置設置工事	/
	事業費			26,900	26,900
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山寄付			6,487	6,487
	その他一般			20,413	20,413

## 事業整理シート

事業名	小山消防署建設備品購入事業	整理番号	3202-060		
所管	消防本部 管理課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	4	1

### ●事業の種類と位置づけ

事業期間	2023年度 (令和5年度)	～			根拠法令・要綱等	耐用年数省令
基本計画における位置づけ	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化		
	関連施策:	3-2-3	施策名:	救急・救助体制の整備		
個別計画での位置づけ	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画					
SDGsでの位置づけ	目標11	住み続けられるまちづくりを				

### ●事業の内容

目的	小山消防署建設に伴い、必要不可欠な備品等の購入。
対象	地域住民(御殿場市・小山町)・消防職員
手段	小山消防署の建設は小山町が負担し、付随する備品等は御殿場市・小山町広域行政組合が負担し実施する。
令和元年度末までの事業実施状況	公共施設総合管理計画で、間もなく法定耐用年数を迎えるため最優先で建て替えが必要な施設となった。今現在候補地を検討中。
事業の背景・住民意見の反映	昭和47年に建設された小山消防署も47年が経過し、老朽化が進み度重なる修繕をしてしのいできたが、平成30年度の公共施設総合管理計画において最優先で建て替えが必要となる。小山町でも小山消防署あり方検討会において議論された。防災拠点が整備されることにより住民の安心・安全が確保され、また、広域災害にも幅広く対応することが可能となる。
PDCAサイクル (R1→R2)	小山消防署の建設については、あり方検討会から3カ年実施計画により令和3年設計、令和4年に着工、令和5年に完成予定で令和6年使用開始となる。


### ●事業計画 (単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
事業内容				小山消防署建設に係る備品一式	/
	事業費			65,000	65,000
財 源 内 訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山			15,675	15,675
	寄付				0
	その他				0
一般			49,325	49,325	

## 事業整理シート

事業名	富士岡分署再整備事業	整理番号	3202-080		
所管	消防本部 管理課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	4	1

### ●事業の種類と位置づけ

事業期間	2023年度 (令和5年度)	～			根拠法令・要綱等 消防組織法第1条・耐用年数省令
基本計画における位置づけ	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	3-2-3	施策名:	救急・救助体制の整備	
個別計画での位置づけ	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画				
SDGsでの位置づけ	目標11	住み続けられるまちづくりを			

### ●事業の内容

目的	富士岡分署庁舎の新築移転事業を行い、地域住民の安心・安全を確保するとともに、消防職員の安全管理と衛生管理の確保を図る。
対象	地域住民(御殿場市・小山町)・消防職員
手段	富士岡分署庁舎を新築移転する。
令和元年度末までの事業実施状況	公共施設総合管理計画で、間もなく法定耐用年数を迎えるため最優先で建て替えが必要な施設となった。今現在候補地を検討中。
事業の背景・住民意見の反映	富士岡分署庁舎は昭和51年建築で40年以上経過しており、老朽化による施設の不具合が多数生じている。所在地が市街地であるので、周辺住民に対し災害時の緊急自動車の走行やサイレン吹鳴に細心の注意を図りながら出勤している。
PDCAサイクル (R1→R2)	住民サービスを考慮した富士岡分署建設用地の確保。


### ●事業計画 (単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
事業内容			富士岡分署移転新築等基本調査	/
事業費			1,000	1,000
財源内訳	国補			0
	防衛			0
	県補			0
	市債			0
	財繰			0
	負担			0
	小山寄付			0
	その他			0
	一般			1,000

## 事業整理シート

事業名	消防庁舎空調設備更新事業	整理番号	5101-060		
所管	消防本部 管理課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	4	1

### ●事業の種類と位置づけ

事業期間	2020年度 (令和2年度)	～	2022年度 (令和4年度)	根拠法令・要綱等	特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律
基本計画における位置づけ	施策番号:	5-1-1		施策名:	新・省エネルギーの導入推進
	関連施策:	3-2-2		施策名:	消防力の強化
個別計画での位置づけ	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画				
SDGsでの位置づけ	目標3	すべての人に健康と福祉を			

### ●事業の内容

目的	消防庁舎の老朽化に伴い一部故障したり古くなったりした空調機を更新し、職場環境の改善に努める。
対象	来庁者及び職員
手段	消防庁舎全体の空調機をフロア毎に順次更新する。
令和元年度までの事業実施状況	令和2年度から実施するため、専門業者による再点検を行い、各フロア毎の優先順位を決めた。
事業の背景・住民意見の反映	空調設備の耐用年数は15年程度であるが、それを超えて使用しているため電気の使用料及び修繕料の増加原因となっている。また、特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律により、代替フロンは2020年以降生産ができなくなるため、環境に優しい空調設備への更新が求められている。
PDCAサイクル (R1→R2)	機械の老朽化を鑑みると、単年度の更新が望ましいが、経費等の平準化を図るため、3カ年にかけて、各フロア毎の更新計画とした。

### ●事業計画 (単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
事業内容		消防庁舎 空調設備更新事業(3F)	消防庁舎 空調設備更新事業(2F)		/
	事業費	12,800	13,300		26,100
財 源 内 訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山 寄付	3,087	3,207		6,294
	その他				0
	一般	9,713	10,093		19,806

## 事業整理シート

事業名	斎場火葬炉修繕事業	整理番号	5304-010		
所管	広域行政組合 庶務課	予算款目	広域行政組合 一般会計	3	1

### ●事業の種類と位置づけ

事業期間	2021年度 (令和3年度)	～	2024年度 (令和6年度)	根拠法令・要綱等
基本計画における位置づけ	施策番号:	5-3-4		施策名: 墓園・斎場の整備
	関連施策:			施策名:
個別計画での位置づけ	広域行政組合公共施設総合管理計画			
SDGsでの位置づけ	目標11	住み続けられるまちづくりを		



### ●事業の内容

目的	斎場火葬炉主要耐火物等の整備(修繕)を行うことで、設備の延命化を図る。
対象	管内(御殿場市、小山町)及び管外利用者
手段	主燃炉、再燃炉及び共通煙道の耐火物積替並びに付帯設備交換
令和元年度末までの事業実施状況	定期点検を行い修繕必要部分の修繕を実施
事業の背景・住民意見の反映	斎場改修工事後12年が経過するが、火葬炉は、通常の炉に比べて温度変化が大きいため炉が傷みやすい。そのため、10～15年に一度大規模な補修を行い、設備の延命化を図る必要がある。
PDCAサイクル (R1→R2)	平成30年度に策定した公共施設総合管理計画を基に、保守点検業務を実施し、その結果により設備等の見直し改善を行い、斎場の運営を円滑に行えるようにする。

### ●事業計画 (単位: 千円)


		令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
事業内容	第1号炉主燃炉、再燃炉の耐火物積替並びに付帯設備交換		第2号炉主燃炉、再燃炉の耐火物積替並びに付帯設備交換	第3号炉主燃炉、再燃炉の耐火物積替並びに付帯設備交換	
	事業費	15,300	18,900	18,400	52,600
財 源 内 訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山	3,626	4,479	4,360	12,465
	寄付				0
	その他				0
一般	11,674	14,421	14,040	40,135	



## 事業整理シート

事業名	衛生センター施設修繕整備事業	整理番号	5505-010			
所管	広域行政組合 衛生センター	予算款項目	広域行政組合 一般会計	3	2	2

### ●事業の種類と位置づけ

事業期間	2011年度 (平成23年度)	～	2028年度 (令和10年度)	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
基本計画における位置づけ	施策番号:	5-5-5		施策名:	衛生センターの整備
	関連施策:	7-7-2		施策名:	広域行政体制の充実・強化
個別計画での位置づけ					
SDGsでの位置づけ	目標11	住み続けられるまちづくりを			

### ●事業の内容

目的	衛生センターの主要装置の整備(修繕)を行うことで、施設の延命を図る。
対象	御殿場市民、小山町民
手段	給泥ポンプ交換修繕、汚泥ホッパー駆動機交換修繕、電磁流量計等交換修繕、40KI施設曝気ブロワモーター交換修繕、貯水槽修繕、高濃度臭気用生物脱臭ブロワ交換修繕、ろ過器整備修繕
令和元年度末までの事業実施状況	100KI施設沈殿槽及び40KL施設沈殿槽の内部装置の修繕を実施したことにより、良好な槽内の環境を保ち、公害防止協定の排出基準値を遵守した。
事業の背景・住民意見の反映	施設稼働後35年が経過し、経年的な消耗が著しく、機械設備、各槽等の老朽化に対応するため補修整備を行う。施設更新計画検討の時期だが、2015年(平成27年)に施設の躯体調査を行った結果、躯体の健全性は保たれているとの調査結果から、更なる施設の延命化を図るため、今後機械設備等の修繕整備を行う必要がある。
PDCAサイクル (R1→R2)	精密機能検査に基づき、施設の老朽化及び経年的な消耗に対し、劣化状況の実態と修繕内容の優先順位を精査し計画した。今後、3年毎に行う精密機能検査に基づき見直し改善を行う。

### ●事業計画 (単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
事業内容	給泥ポンプ交換修繕	23,000	電磁流量計等交換修繕	17,600	81,700
	汚泥ホッパー駆動機交換修繕		40KI施設曝気ブロワモーター交換修繕 貯水槽修繕		
事業費		23,000	41,100	17,600	81,700
財 源 内 訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山	5,963	10,655	4,563	21,181
	寄付				0
その他				0	
一般	17,037	30,445	13,037	60,519	

## 事業整理シート

事業名	ごみ焼却施設周辺整備事業	整理番号	6601-030			
所管	広域行政組合 資源循環課	予算款項目	広域行政組合一般会計	3	2	1

### ●事業の種類と位置づけ

事業期間	2015年度 (平成27年度)	～	2035年度 (令和17年度)	根拠法令・要綱等	ごみ焼却施設の建設及び操業に関する合意書
基本計画における位置づけ	施策番号:	6-6-1		施策名:	都市計画道路・幹線道路の整備推進
	関連施策:				
個別計画での位置づけ					
SDGsでの位置づけ	目標11	住み続けられるまちづくりを			
	目標12	つくる責任 つかう責任			



### ●事業の内容

目的	ごみ焼却施設の周辺地区である板妻区及び神場区への地域振興策として、道路、河川等の公共工事を実施する。
対象	板妻区及び神場区の住民
手段	地元区の要望に基づき、広域行政組合が御殿場市に委託して道路、河川等の公共工事を実施する。
令和元年度末までの事業実施状況	平成27年度から、板妻区及び神場区の要望に基づき、道路河川課に委託して、道路改良工事、生活道路舗装工事及び側溝改修工事等を順調に実施している。
事業の背景・住民意見の反映	ごみ焼却施設建設及び操業に関する基本協定書に基づき、地元区との定期協議会で内容を協議し地元の要望に即した公共工事を実施する。
PDCAサイクル (R1→R2)	毎年度、地元区と協議し、要望箇所を見直し、関連する都市計画道路(神場・板妻・印野線)の工事の進捗等を考慮して、効率的な工事を実施している。

### ●事業計画 (単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
事業内容	道路整備・河川改修工事	道路整備・河川改修工事	道路整備・河川改修工事	道路整備・河川改修工事	/
事業費		30,000	30,000	30,000	90,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山	7,109	7,109	7,109	21,327
	寄付				0
	その他				0
一般	22,891	22,891	22,891	68,673	